HUPC2020 day1 F n 角錐グラフ

原案:monkukui

解説: monkukui

解法提供:tsutaj

問題概要

- N角錐グラフが与えられる
- 始点と終点が共に頂点 0 であるような、 長さ K のサーキット全てに対するコストの総和を求めよ

[制約]

- $1 \le N \le 10^6$
- $1 \le K \le 2N$

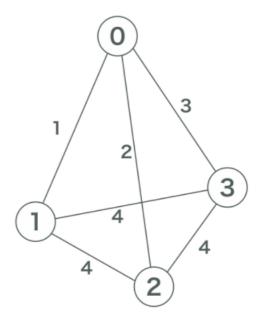
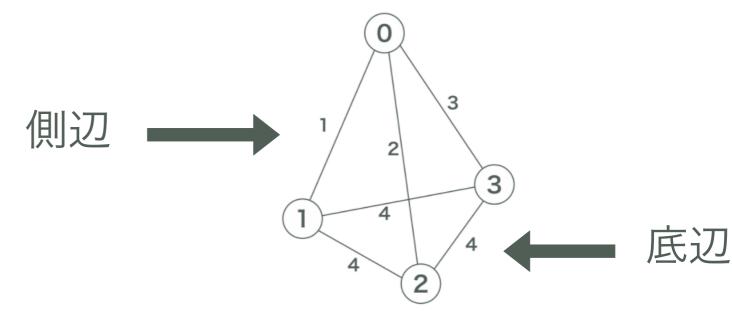


図:重み付き3角錐グラフ

用語の定義

- 辺 $\{0,i\}$ $(1 \le i \le N)$ を<u>側辺</u>と呼ぶ
- 辺 $\{i, i+1\}$ $(1 \le i \le N)$ を<u>**底辺**</u>と呼ぶ



想定 TLE 解法

- bitDP
 - どの頂点にいるか、パスの長さ、どの辺を使ったか
 - $O(NK4^N)$

サイクルの個数を決め打つ

- サイクルの個数を決め打つ $\rightarrow L$ と置く
 - 使う側辺は 2L、使う底辺はK-2L、使う底面の頂点は K-L 個
- L を固定したときのサーキットの個数を C_L とすると C_L ($2L\cdot$ (側辺の重みの平均) + $(K-2L)\cdot$ (底辺の重みの平均))

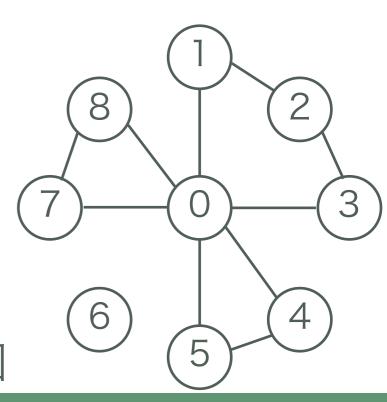
が、サーキットの重み和になる



C_L を求めれば良い

以降は、 C_L の求め方を解説します

N=8,L=3 の図



左端を固定する

・ 円環を列に直して、

左端(頂点 1, 2, ..) は**必ず最初に**使うことにして数えあげる

その値に、

 2^L (左回りか右回りか)、(L-1)! 使う順番、N(左端の頂点)

を最後に掛けると、全体の通り数が求まる

L=2 の例

必ず最初に使う 何個使うかは決まっていない

あとは自由に使う

- (1)
- 2
- 3
- (4)
- 5
- 6
- $\overline{7}$
- 8
- 9

(10)

左端を固定する

・ 円環を列に直して、

左端(頂点 1, 2, ..) は**必ず最初に**使うことにして数えあげる

その値に、

 2^L (左回りか右回りか)、(L-1)! 使う順番、N(左端の頂点)

を最後に掛けると、全体の通り数が求まる

L=2 の例

必ず最初に使う 何個使うかは決まっていない

あとは自由に使う

- 1
- 2
- 3
- 4
- (5)
- 6
- 7
- (8)
- 9
- (10)

左端を固定する

・ 円環を列に直して、

左端(頂点 1, 2, ..) は**必ず最初に**使うことにして数えあげる

その値に、

 2^{L} (左回りか右回りか)、(L-1)! 使う順番、N(左端の頂点)

を最後に掛けると、全体の通り数が求まる

L=2 の例

必ず最初に使う 何個使うかは決まっていない

あとは自由に使う

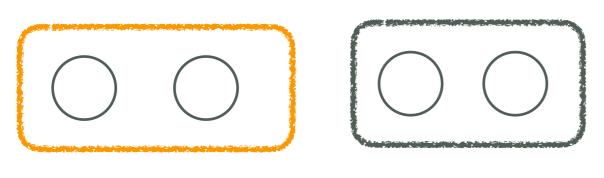
- (1)
- 2
- (3)
- 4
- 5
- 6
- $\overline{7}$
- 8



10

順に、何頂点ずつ使うか

- ・ 各サイクルは、最低 2 つの頂点を使うので、あらかじめ入れる
- 残りの使うべき頂点数は (K-L)-2L=K-3L であり、 重複組み合わせ $_{L}H_{K-3L}$ で計算することができる



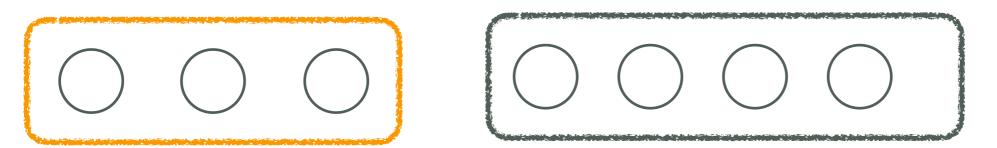
2L 個



K - 3*L* 個

順に、何頂点ずつ使うか

- ・ 各サイクルは、最低 2 つの頂点を使うので、あらかじめ入れる
- 残りの使うべき頂点数は (K-L)-2L=K-3L であり、 重複組み合わせ $_{L}H_{K-3L}$ で計算することができる

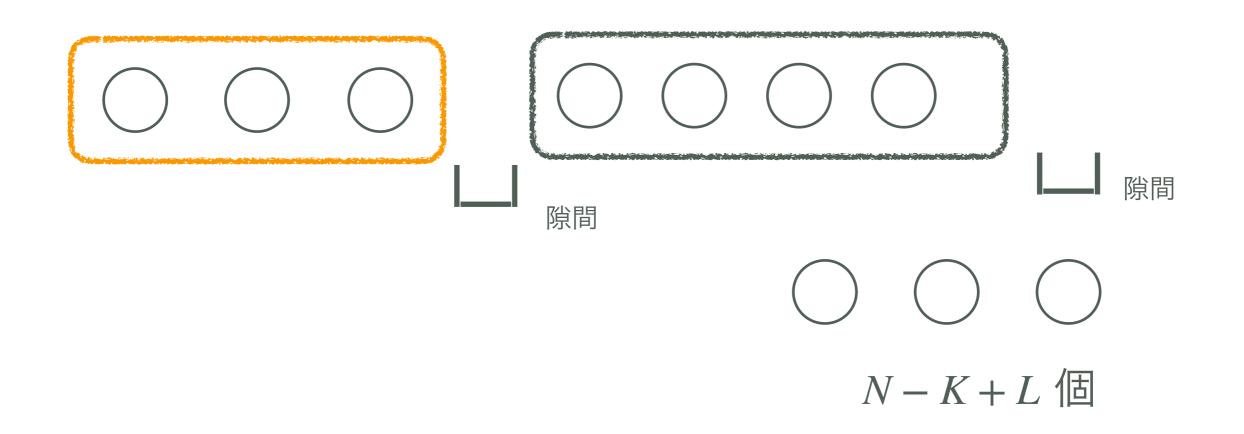


K-L 個



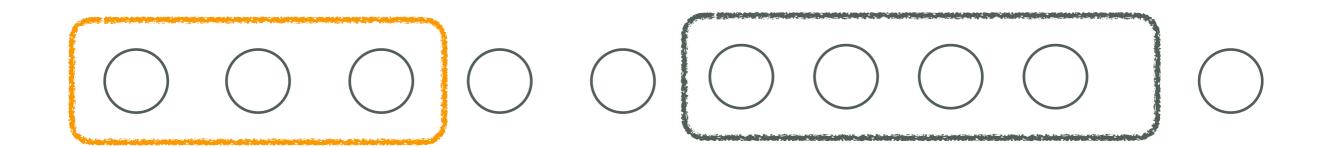
使わない頂点を隙間に入れる

- 使わない頂点がN-K+L個あり、隙間のL箇所に入れる
- これは、重複組み合わせ $_LH_{N-K+L}$ で計算することができる



使わない頂点を隙間に入れる

- 使わない頂点がN-K+L個あり、隙間のL箇所に入れる
- これは、重複組み合わせ $_LH_{N-K+L}$ で計算することができる



使わない頂点を隙間に入れる

- 使わない頂点がN-K+L個あり、隙間のL箇所に入れる
- これは、重複組み合わせ $_LH_{N-K+L}$ で計算することができる



解法のまとめ

- サイクルの個数 L を固定する
- C_L (サイクルの個数がLになるサーキットの通り数)を、以下の式に従って求める

$$C_L = 2^L (L-1)! N \cdot_L H_{K-3L} \cdot_L H_{N-K+L}$$

• P5 の式に従って、答えを足し合わせていく

テスター解

- tsutaj (C++) 80 行
- tsutaj (Java) 141 行
- monkukui (C++) 225 行
- tab (Python) 42 行

FA

nvip62 (64 min 44 sec)

正答率

• 22/66